

食品安全委員会の運営について（令和6年4月～令和6年6月）

1. 食品安全委員会の開催

4月：936回・937回・938回（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（0品目）

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（11品目）

遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・LEU-No. 4株を利用して生産されたL-ロイシン（4/9） <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」（平成17年4月28日食品安全委員会決定）に基づき、安全性が確認されたと判断した。</u> <u>したがって、本添加物については、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」（平成16年3月25日食品安全委員会決定）による評価は必要ないと判断した。</u>
動物用医薬品及び飼料添加物（10品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・サルファ剤（4/23） <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3（3）①に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>

（3）その他

- ・生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の施行に伴う食品安全委員会決定の一部改正について決定（4/2）
- ・食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針の一部改正について決定（4/9）

5月：第939回・940回（2回）

（1）（1）食品健康影響評価の要請案件（0品目）

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（3品目、1案件）

飼料添加物（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル（5/14） <u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u> ・メチオニンを有効成分とする飼料添加物 2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステルを飼料添加物として使用した家畜に由来する食品の安全性（5/14）
------------	---

	<u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u>
プリオン（1案件）	・牛肉骨粉等の鶏・豚等用飼料への利用（5/21） <u>牛肉骨粉等を、鶏・豚等を対象とする飼料の原料として利用したとしても、人への健康影響は無視できる。</u>
食品衛生法第13条第3項の規定に基づき人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして内閣総理大臣が定める物質（対象外物質）（1品目）	・アナカルド酸（5/21） <u>飼料添加物として通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであると考えられる。</u>

（3）その他

- ・ 食品安全委員会の運営（令和6年1月～令和6年3月）について報告（5/14）

6月：第941回・942回、943回、944回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（4品目、1案件）

農薬（3品目）	・イソシクロセラム（6/18） ・グルホシネート（6/18） ・シクロピラニル（6/18）
飼料添加物（1品目）	・遺伝子組換え技術によって得られた <i>Trichoderma reesei</i> を利用して生産されたフィターゼ（6/25）
動物用医薬品（1案件）	・動物用ワクチンの添加剤（二酸化ケイ素、ゲンタマイシン硫酸塩（6/11）

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（5品目）

農薬（2品目）	・エスプロカルブ（6/4） <u>ADIを0.01 mg/kg 体重/日、ARfDを0.05 mg/kg 体重と設定</u> ・エトフェンプロックス（6/4） <u>ADIを0.031 mg/kg 体重/日、ARfDを1 mg/kg 体重と設定</u>
遺伝子組換え食品等（1品目）	・JPBL011株を利用して生産されたα-アミラーゼ（6/25） <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」（平成16年5月6日食品安全委員会決定）に基づき食品健康影響評価を実施した結果、組換え体由来の新たな有害物質が生成され、肉、乳、卵等の畜産物中に移行する可能性、遺伝子組</u>

	<p>換えに由来する成分が畜産物中で有害物質に変換・蓄積される可能性及び当該成分が家畜の代謝系に作用し、新たな有害物質が産生する可能性はないと考えられることから、改めて「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」（平成16年3月25日食品安全委員会決定）に準じて評価する必要はなく、当該飼料添加物を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</p>
飼料添加物（1品目）	<p>・カシューナッツ殻液（6/25） 飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</p>
有機フッ素化合物（PFAS）（1品目）	<p>・有機フッ素化合物（PFAS）（6/25） PFOSの耐容一日摂取量を20ng/kg体重/日、PFOAは20ng/kg体重/日と設定する。PFHxSについては、評価を行う十分な知見は得られていないことから、現時点では指標値の算出は困難であると判断した。</p>

（3）その他

- ・ 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果（第28回：令和5年9月30日時点）について報告（6/4）
- ・ 令和5年度食品安全委員会運営状況報告書（案）について決定（6/11）
- ・ 食品安全委員会の後援等名義に関する規程の一部改正について決定（6/11）
- ・ 令和6年度食品健康影響評価依頼予定物質（食品中の暫定基準を設定した農薬等）について報告（6/18）
- ・ 令和6年度食品健康影響評価依頼予定物質（飼料中の暫定基準を設定した農薬）について報告（6/18）
- ・ 紅麹関連製品に係る事案を受けた機能性表示食品制度等に関する今後の対応について報告（6/18）
- ・ 「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」及び「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」の改正について決定（6/25）
- ・ 「食品の安全性確保のための研究・調査の推進の方向性（ロードマップ）」の改正について決定（6/25）
- ・ 令和6年度食品安全確保総合調査課題について決定（6/25）

2. 専門調査会等の運営（全32回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・ 座長の選出・座長代理の指名、令和5年度食品安全委員会運営状況報告書について、令和6年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件選定の進め方等について（6/5）
添加物	1回	・ 亜硫酸ナトリウム、次亜硫酸ナトリウム、二酸化硫黄、

		ピロ亜硫酸カリウム、ピロ亜硫酸ナトリウム (6/19)
農薬第一	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 (4/22) ・イミダクロプリド (4/22、6/10)
農薬第二	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 (5/13) ・カルベンダジム、チオファネートメチル及びベノミル (5/13)
農薬第三	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 (4/24) ・エトフェンプロックス (4/24) ・プロスルホカルブ (6/14)
農薬第四	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 (4/25) ・ペンチオピラド (4/25) ・ペントキサゾン (5/27) ・フサライド、フルペンチオフェノックス (6/17)
農薬第五	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 (5/23) ・ジンプロピリダズ、マンデストロビン (5/23) ・フェリムゾン (6/20)
動物用医薬品	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出・座長代理の指名 (6/3) ・ジブチルサクシネート、ノルジェストメット、プラレトリン (6/3)
微生物・ウイルス	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出・座長代理の指名等、アニサキスのリスクプロファイル、食品により媒介される微生物等に関する評価について (4/15)
プリオン	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員等の紹介、専門調査会の運営等について、座長の選出・座長代理の指名 (4/12) ・牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し (SRM の範囲) (6/27)
遺伝子組換え食品等	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・<i>Streptomyces mobaraensis</i> TTG-1 株を利用して生産されたトランスグルタミナーゼ、PRO-No. 1 株を利用して生産されたL-プロリン (4/25) ・遺伝子組換え食品等の安全性評価基準改正に関する審議結果 (案) (5/30) ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (DAS1131) (食品・飼料) (5/30) ・遺伝子組換え食品 (種子植物) の食品健康影響評価に関する技術的文書 (案) の検討 (6/28)
肥料・飼料等	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員等紹介、専門調査会の運営等について、座長の選出・座長代理の指名 (4/17) ・カシューナッツ殻液、スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤 (動物用シノラル液) (4/17) ・スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤 (動物用シノラル液) (6/12)
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員等の紹介、ワーキンググループの運営等について、薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画 2023 年度進捗状況の確認について、ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤 (動物用ホスミシン S (静注用)) の再審査に係る

		薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について、「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針」の改訂の検討(6/21)
有機フッ素化合物(PFAS)ワーキンググループ	2回	・有機フッ素化合物(PFAS) (4/26、6/20)

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣(全4回、うち委員4回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
4/4	オンライン開催	健康食品・サプリメントの課題と展望 ～健康食品の安全性について～(脇委員)	株式会社ウエルネスニュースグループ	食品関係事業者
4/15	神奈川県	食品安全委員会におけるリスク評価の実際 (浅野委員)	横浜薬科大学	学生、学校関係者
5/24	東京都	ifiaHFE JAPAN 2024 残留農薬の安全性確保:食品安全委員会における農薬のリスク評価と再評価 (浅野委員)	株式会社食品化学新聞社	食品関係事業者等
6/7	東京都	全国食品衛生主管課長連絡協議会 食品安全委員会の20年、これまでの歩みと今後の展望 (山本委員長)	全国食品衛生主管課長連絡協議会	食品衛業務に従事する行政職員

(2) 意見交換会等(全1回)

開催日	内容	共催団体	対象
6/20	PFAS評価書(案)記者ブリーフィング	—	報道関係者

(3) ブース出展(全2回)

開催日	内容	共催団体	対象
5/22 ～24	ifiaHFE JAPAN 2024	株式会社食品化学新聞社	食品関係事業者等
6/1 ～2	ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会	農林水産省、大阪府、大阪市、第19回食育推進全国大会大阪府実行委員会	一般消費者

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 4月：10記事

閲覧数 (Facebook) 11,489人/月、(ブログ) 3,145人/月

投稿日	記事内容
1	令和6年度調査事業の公告開始(4課題)について(期間:5月7日(火)12:00まで)
3	4/2に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 食品安全セミナー「農薬の再評価に係る食品健康影響評価」の講演動画を公開しました。
4	食品安全委員会創立20周年記念コラム第8回「汚染物質の評価は難しい～無機ヒ素」を掲載しました
5	【食品安全委員会4/1～4/5の公表事項】
10	4/9に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
12	【食品安全委員会4/8～4/12の公表事項】
19	【食品安全委員会4/15～4/19の公表事項】
24	4/23に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
30	【食品安全委員会4/22～4/30の公表事項】

■ 5月：12記事

閲覧数 (Facebook) 24,244人/月、(ブログ) 5,637人/月

投稿日	記事内容
2	【食品安全委員会5/1～5/2の公表事項】
9	【食品安全委員会事務局 技術参与(非常勤一般職国家公務員)募集】
10	【食品安全委員会5/7～5/10の公表事項】
15	「第29回 ifia JAPAN 2024/第22回 HFE JAPAN 2024」にブース出展します 5/14に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
17	【食品安全委員会5/13～5/17の公表事項】
22	5/21に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 「第29回 ifia JAPAN 2024/第22回 HFE JAPAN 2024」にブース出展しています
24	【6月7日は世界食品安全の日～「委員長のメッセージ動画を公開中」～】 【食品安全委員会5/20～5/24の公表事項】
27	令和6年度調査事業の公告開始(1課題)について(期間:6月19日(水)12:00まで)
31	【食品安全委員会5/27～5/31の公表事項】

■ 6月：15記事

閲覧数 (Facebook) 28,428人/月、(ブログ) 4,155人/月

投稿日	記事内容
3	カフェインの取り過ぎに注意!
5	6/4に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 6月1日～2日に行われた「第19回食育推進全国大会」にて、食品安全委員会のブース出展を行いました。

7	【食品安全委員会 6/3～6/7 の公表事項】
12	6 /11 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
14	【食品安全委員会 6/10～6/14 の公表事項】
	【食品安全委員会事務局 技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】
19	6 /18 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
21	【食品安全委員会 6/17～6/21 の公表事項】
25	「有機フッ素化合物（PFAS）の食品健康影響評価の結果を公表しました。
26	6 /25 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 有機フッ素化合物（PFAS）の食品健康影響評価について、姫野座長のインタビューを掲載しました。
28	【食品安全委員会 6/24～6/28 の公表事項】
	“Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan” Volume 12, Issue 2 has just been published.
	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 12, No. 2 を公開しました。

(2) X (旧 Twitter)

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■ 4 月：2 記事

閲覧数 23,212 件/月、フォロワー 2,760 人

投稿日	記事内容
3	食品安全委員会は 3 月 28 日に「農薬の再評価に係る食品健康影響評価」について解説するオンラインセミナーを開催しました。講演の動画を公開しましたので、是非ご覧ください。
4	松永委員執筆の連載コラム第 8 回は「汚染物質の評価は難しい～無機ヒ素」。コメや海藻などに多く含まれる無機ヒ素は、2013 年に食品安全委員会にて安全性評価を行いました。評価の概要とその難しさについて解説します。

■ 5 月：4 記事

閲覧数 496,491 件/月、フォロワー 2,848 人

投稿日	記事内容
9	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価に関する業務の補助を担当する技術参与（農薬 1 名、かび毒・自然毒等 1 名）を募集しています。あなたの専門性を生かせる仕事です。ご応募を心よりお待ちしております。詳細はこちら↓
15	5/22～24 に東京ビッグサイトで開催の #ifia JAPAN2024/ #HFE JAPAN2024 で #食品安全委員会 がブース出展（A021 ブース）します。5/24（金）には浅野哲委員が「残留農薬の安全性確保：食品安全委員会における農薬のリスク評価と再評価」の講演を行います。是非お越しください。
22	本日から 24 日（金）まで東京ビッグサイトの #ifia JAPAN2024/ #HFE JAPAN2024 に #食品安全委員会 が出展（A021 ブース）しています。24 日には浅野哲委員が「残留農薬の安全性確保：食品安全委員会における農薬のリスク

	評価と再評価」の講演を行いますので是非お越しく下さい。
24	6月7日は世界食品安全の日。停電、災害など予期せぬ事態への対応も含めて、みんなが食品を安全に食べるためにどう行動するべきかを考え共有しましょう。共通のハッシュタグをつけてご自身の活動をつぶやき、リポストしましょう。 #世界食品安全の日 #WorldFoodSafetyDay

■ 6月：6記事

閲覧数 143,992件/月、フォロワー 2,912人

投稿日	記事内容
3	#カフェイン は、コーヒーや茶、#エナジードリンク 等に含まれます。とる量が適量なら頭がすっきりしますが、過剰になるとめまいや心拍数増加の可能性も。とりすぎたり、お酒と同時にとったりしないよう注意！
5	6月1日～2日の「第19回 #食育推進全国大会」にて、食品安全委員会のブース出展を行いました。ブースには、食品安全委員会のパンフレット、広報誌、設立20周年記念誌や、健康食品についての19のメッセージのパンフなどを展示・配布し、たくさんの方に訪れてもらいました。
7	本日6月7日は世界食品安全の日。停電、災害など予期せぬ事態への対応も含めて、みんなが食品を安全に食べるためにどう行動するべきかを考え共有しましょう。共通のハッシュタグをつけてご自身の活動をつぶやき、リポストしましょう。
14	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価に関する業務の補助を担当する技術参与（農薬1名）を募集しています。あなたの専門性を生かせる仕事です。ご応募を心よりお待ちしております。詳細はこちら↓
25	#食品安全委員会 は6月25日に「有機フッ素化合物（PFAS）食品健康影響評価書を決定しました。これに併せて、評価書のQ&Aや説明資料を公開しました。ぜひご覧ください。
26	食品安全委員会は6月25日に「有機フッ素化合物（PFAS）食品健康影響評価書を決定しました。この評価に係るワーキンググループの姫野誠一郎座長のインタビュー記事を公開しました。ぜひご覧ください。

(3) YouTube

食品の安全性に関する科学的な知識の普及啓発や、その他食品の安全に関する情報についての動画による情報発信

(4～6月の動画合計視聴回数 13,827回、チャンネル登録者数 1,845人(6月末時点))

公開月日	記事内容	視聴回数 (公開日～6/30)
4/3	食品安全セミナー「農薬の再評価に係る食品健康影響評価」について～試験データを私たちはどう判断するのか～	786回
5/22	2024年世界食品安全の日に向けて	326回

食品健康影響評価の審議状況

2024.6.30現在

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和6年 度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和6年 度分	評価終了 注5)
添加物	315		7		308		
農薬	1425	3	162	2	1261	2	
うちポジティブリスト関係	546		133		413		
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		16		43		
動物用医薬品	673	2	16		657		
うちポジティブリスト関係	140		10		130		
器具・容器包装	25		1		24	1	
汚染物質等	68				68		3
うち清涼飲料水	52				52		
微生物・ウイルス	22				22		2
プリオン	70		8		62	1	14
かび毒・自然毒	10		1		9		5
遺伝子組換え食品等	390		18	2	370	2	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	330	1	13		317	15	
うちポジティブリスト関係	142		11		131	10	
薬剤耐性菌	74		8		66		1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルギーを含む食品に関するWG							1
栄養成分添加物WG	2				2		
香料WG	7				7		
有機フッ素化合物(PFAS)WG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		1
合計	3508	6	234	4	3270	21	31

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2024年6月30日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルホンアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	3
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）、アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）	2
2005/2/14	厚	農薬 ジコホールー	1
2005/8/5	農	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液） 【再審査】 ■	1
2005/8/5	農	薬剤耐性菌 ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用）） 【再審査】 ■	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピリアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン☆	2
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロンメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン〈一部☆〉	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム☆	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロン☆、ピリデート☆、フッ化スルフリル☆	4
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆、β-カロテン☆、酒石酸☆、トウガラシ色素☆、乳酸☆〈農薬用途もあり〉、マリーゴールド色素☆、メナジオン☆、レチノール☆	10
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ピンクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス（飼料中）☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆、メトプレン☆	4

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/12/10	農	農薬 メトプレン（飼料中）☆	1
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルフアン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロメチル☆、ジスルホトン☆、ブロモキシニル☆	3
2011/4/19	厚	添加物 カルミン-	1
2011/4/25	農	農薬 ブロモキシニル（飼料中）☆	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコルスフロム☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	10
2011/9/22	厚	農薬 2,4-DB☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン（飼料中）☆	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（オランダ）②&※	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン（飼料中）☆、ホレート（飼料中）☆、シハロトリン（飼料中）☆、ジクロルボス及びナレド（飼料中）☆	4
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル（飼料中）☆、クロルフェンビンホス（飼料中）☆、シマジン（飼料中）☆、パラチオン（飼料中）☆	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	12
2013/3/13	農	農薬 ピリミホスメチル（飼料中）☆	1
2013/4/2	厚	プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC（飼料中）☆、ジメトエート（飼料中）☆、メチダチオン（飼料中）☆	3
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、フルキンコナゾール☆	6
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニユロン☆	8
2013/8/20	厚	肥料・飼料等及び農薬 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※、リヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	2
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し&※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉並びに内臓※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1(食品)■	1
2017/12/20	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1(飼料)■	1
2018/7/4	農	薬剤耐性菌 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤(エコノアプレミックス1%及びエコノアプレミックス10%)※再審査■	1
2019/2/27	農	薬剤耐性菌 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤(アモスタックLA注)※再審査■	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■	1
2020/2/13	厚	肥料・飼料等 ジニトルミド☆	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 ジブチルサクシネート☆、ノルジェストメット☆	2
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ(NS-B50027-4)(飼料)■	1
2021/5/17	厚	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ(NS-B50027-4)(食品)■	1
2022/3/15	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP915635)(飼料)■	1
2022/3/16	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP915635)(食品)■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■	1
2022/8/23	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■、次亜硫酸ナトリウム■、二酸化硫黄■、ピロ亜硫酸カリウム■、ピロ亜硫酸ナトリウム■	5
2022/9/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ■	1
2022/12/1	厚	添加物 亜塩素酸水■	1
2022/12/14	厚	農薬 チオジカルブ及びメソミル☆	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■、クロチアニジン■、ピペロニルブトキシド☆	6
2022/12/14	厚	動物用医薬品 プラレトリン■	1
2022/12/14	農	農薬 アセタミプリド※、イミダクロプリド※、クロチアニジン※、ジノテフラン※、チアメトキサム※	5
2022/12/14	農	動物用医薬品 クロチアニジンとd-d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤(ヌーベルショット、トリプルアクセル)■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 <i>Trichoderma reesei</i> RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■、 <i>Trichoderma reesei</i> RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■	2
2023/1/25	農	農薬 グリホサート※	1
2023/3/22	農	農薬 フサライド※	1
2023/6/28	厚	プリオン ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※	1
2023/7/3	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(DAS1131)■	1
2023/7/4	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(DAS1131)■	1
2023/8/31	厚	農薬 ジアフェンチウロン〈一部☆〉	1
2023/10/3	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2023/10/3	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2023/10/25	農	農薬 フェリムゾン※、プロスルホカルブ※、ペントキサゾン※	3
2023/11/21	厚	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉、ジンプロピリダズ■、フルペンチオフェノックス■	3
2023/11/21	農	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉、ピペロニルブトキシド☆	2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2023/12/5	農	遺伝子組換え食品等 ML18456株を利用して生産したカンタキサンチン■	1
2024/2/7	農	農薬 キノクラミン※、フィプロニル※、プレチラクロール※、プロパモカルブ塩酸塩※	4
2024/2/7	厚	遺伝子組換え食品等 <i>Saccharomyces cerevisiae</i> NS470 (GBS 615.94) 株を利用して産生された α -ガラクトシダーゼ■	1
2024/2/21	厚	農薬 ベンチオピラド■、マンデストロピン■	2
2024/2/27	農	遺伝子組換え食品等 <i>Trichoderma reesei</i> RF8694株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2024/2/28	厚	かび毒・自然毒 食品中のオクラトキシンAの規格基準の設定についてー	1
2024/3/19	厚	遺伝子組換え食品等 <i>Streptomyces mobaraensis</i> TTG-1株を利用して生産されたトランスグルタミナーゼ■	1
2024/6/6	農	動物用医薬品 ワクチン添加剤（二酸化ケイ素、ゲンタマイシン硫酸塩）※	2
2024/6/12	消	農薬 イソシクロセラム■、グルホシネート■、シクロピラニル■	3
2024/6/19	農	肥料・飼料等 遺伝子組換え技術によって得られた <i>Trichoderma reesei</i> を利用して生産されたフィターゼ■	1

234

(注)

ー：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

II 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2024/6/5～2024/7/4	農薬 ヨウ化メチル■	1
2024/5/15～2024/6/13	農薬 フェンメディファム※	1
2024/6/12～2024/7/11	遺伝子組換え食品等 JPBL015株を利用して生産されたトランスグルタミナーゼ■	1
2024/6/26～2024/7/25	遺伝子組換え食品等 PRO-No. 1株を利用して生産されたL-プロリン■	1

4

（注）

ー：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2024/4/9	消	器具・容器包装 食品衛生法第18条第1項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）に定める器具及び容器包装の規格を改正することについて（食品用器具・容器包装の材質別規格、用途別規格等の改正について）－	1
2024/4/11	消	遺伝子組換え食品等 LEU-No. 4株を利用して生産されたL-ロイシン■	1
2024/4/24	消	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール■、スルファメトキサゾール☆、スルフィソゾール☆、スルファジメトキシ☆、スルファモノメトキシ☆、スルファジミジン☆、スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシ☆、スルファモイルダプソン☆、スルファキノキサリン☆	11
2024/5/15	消	肥料・飼料等 メチオニンを有効成分とする2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステルを飼料添加物として使用した家畜に由来する食品の安全性※	1
2024/5/15	農	肥料・飼料等 2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル■	1
2024/5/22	消	肥料・飼料等 アナカルド酸■	1
2024/5/22	農	プリオン 牛肉骨粉等の鶏・豚等用飼料への利用－	1
2024/6/11	農	農薬 エスプロカルブ※	1
2024/6/11	消	農薬 エトフェンプロックス■	1
2024/6/25	厚、農、国、環、消	PFAS 有機フッ素化合物（PFAS）◎	1
2024/6/26	農	肥料・飼料等 カシューナッツ殻液■	1
2024/6/27	農	遺伝子組換え食品等 JPBL011株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	1

22

(注)

- －：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）
- ☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件
- ※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件
- ：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）
- ◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

IV その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2022/3/22	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正

2022/6/21	厚・農	食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（改正）
2023/9/12	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕（改正）
2024/4/9	消・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針（改正）
2024/6/26	消・農	遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針（改正） 遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2024/6/26	農	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方（改正）